

令和5年度 学校評価自己評価表

1 経営理念

学校教育目標	夢をはぐくみ 自ら考え学び 共に伸びる 八重東っ子の育成 ○進んで自分から学び、みんなで伸びる子供→自ら学ぶ楽しさを味わいお互いに励まし切磋琢磨して高まろうとする子供の育成～ ○自分大好き、友だち・学校大好き、ふるさと 大好きな子供→思いやりや社会性など豊かな心を持った子供の育成～ ○自分を見つめ、目標めざして頑張りきる子供(体力・耐力・気力)→基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに元気な子供の育成～	学校経営理念 <ミッション>	◆児童の生命を守る(学校管理・指導の徹底) ◆校長を中心とした組織的な学校経営・運営 ◆学校のミッションを自覚した学校経営と教職員の力量向上
--------	---	-------------------	--

2 経営目標・教育目標・評価・達成状況

目標・目標のための方策・目標値 等					自己評価				学校運営協議会表評価	改善方策	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値 [年間]	3月 (達成)	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	
健やかな心身の育成 心身の健康の保持増進	① 体力の向上	○体育の授業改善(運動時間の確保・体育すきを増やすセットメニュー実施) ○「投げる・走る」を重点項目として取り組みの充実を図る。(運動会・マラソン大会への取り組み充実:投げ方・走り方指導, 目標設定など) ○年間複数回の測定で伸びをフィードバック	○新体力テスト ・50m走 ・ボール投げ 1回目以上の結果 70%以上	70%	76%	108%	A	【結果】○「運動をすることが好き」「体育が好き」96% ○新体力テスト, 5年生は全項目で県平均・全国平均を上回った。 ○2回目の体力テストの結果, 1回目と同等もしくはそれを上回った児童の割合→50m 走73%, ボール投げ79% 【分析】○「体力アップ朝会」(児童主体で実施)有効 ○大休憩時の「マラソントime」有効 ○「長縄跳びで元気アップ大作戦」有効 ●課題のある学年がある 【結果】○「好き嫌いを減らす」92%, 「残さず食べようとしている」93% ○平均残菜量は100g以下/1日で, 完食率が上がっている 【分析】○「完食目指そう黒板」有効 ○「残菜量を掲示」有効 ○「毎日の給食放送」で残菜の量を意識させる取組有効 ○「箸の持ち方」を中心としたマナー指導を委員会が行い, 食に対する興味関心が向上している。	A	評価は妥当である。 ・運動が好きな様子が伝わってくる。体力づくりも積極的に行っている。 ・読み聞かせサークル「ひだまり」の読み聞かせ時に, その日の給食に関わる話をさせていただいており, 食への関心が上がっている。	○体力テストについては, 一定の評価を得ているので, 今後は心情面を育て, 「体育・運動好き」な子供を増やしていく。 ○食に関する指導について, 養護教諭・栄養教諭等とも連携し, 学習を充実させる。 ○委員会活動等で児童自らが考えた方法も取り組む。
	② 基本的な生活習慣の定着	○食に関する指導の充実(好き嫌いを減らし, バランスよく食べる:養護教諭との学級指導, 学級通信やほけんたより, 食育に関する内容発信) ○減らそう残菜「減菜」キャンペーン実施	○児童アンケート 好き嫌いを減らす 肯定的回答80%以上 残さず食べようとしている 肯定的回答90%以上	80% 90%	93%	103%	A	【結果】○「学習発表会への取組。保護者・地域への発信, 教職員自身と児童の自己有用感が向上。 →助ける・声掛け97% 人の良いところ知っている96% ○総合単元的な道徳, 地域公開全学年で実施 ○保護者と学校, SC, 中学校との連携により不安を軽減, 意欲向上。 ○90%以上の児童が「あいさつ・返事」ができています。70%程度の児童が, 「気持ちのよい挨拶」をすることができているように感じる 【分析】○児童会の「自分から進んで気持ちのよいあいさつを行う取組」・あいさつ名人の取組が有効 ○生徒指導主事を中心とした問題行動への対応のシステム化(役割分担, 事後指導の定着)信頼関係構築が有効 ○生徒指導に関する拡大ケース会議や生徒指導・特別支援委員会充実が有効	A	評価は妥当である。 ・児童の自己評価や他己評価により, 児童に自信をつける活動はよい。 ・あいさつは, 出会ったときによく挨拶してくれる。 ・今後も地域のあいさつ運動(JA女性部)月1回は継続して協力する。	○自己肯定感を高めることは十分にできています。今後も取組を続けながら, 児童自ら主体的な活動や
豊かな心の育成 思いやりや社会性の醸成	③自分も友達も大切にできる子どもを育成する。(自己有用感)	○ほめほめカード(他者・自分の良さをほめる) ○総合単元的な道徳により, 授業・生活目標・学校行事を関連させる。	○児童アンケート 肯定的回答 80%以上	80%	助ける 97% 良いところ 知っている 96%	120%	A	【結果】○学校全体:国語87点, 算数83点 ●学年によるばらつき(特に算数) 【分析】○「研究授業による授業改善(県教委招聘)」有効 ○「教務部新聞」有効 ○毎週木曜日の「放課後学力補充」有効 ○「パワーアップタイム」有効 ●漢字の習得や記述式問題での誤答 【結果】○自主学習継続目標達成率85% ○「自主学習の評価」有効 ○「自主学習の見本の配付」有効 ●自主学習の質が向上した児童の割合72%	A	評価は妥当である。 ・児童の自己評価や他己評価により, 児童に自信をつける活動はよい。 ・あいさつは, 出会ったときによく挨拶してくれる。 ・今後も地域のあいさつ運動(JA女性部)月1回は継続して協力する。	○基礎・基本の力は学力補充やパワーアップタイムなどを継続する。 ○授業研究については来年度のテーマに基づき, 主体的に対話的な学びを深め, 研究授業等に取り組む。 ○児童が自ら学習意欲を高めるための取組を深める。
	④社会性の醸成(あいさつ・返事・ルール)	○あいさつ名人・あいさつ達人 ○年間を通じて計画的なSST(ソーシャルスキルトレーニング)	○児童同士の他者評価 肯定的評価 80%以上 (○保護者アンケート 肯定的評価 70%以上)	80% 70%	96% 70%	120% 100%	A	【結果】○学校全体:国語87点, 算数83点 ●学年によるばらつき(特に算数) 【分析】○「研究授業による授業改善(県教委招聘)」有効 ○「教務部新聞」有効 ○毎週木曜日の「放課後学力補充」有効 ○「パワーアップタイム」有効 ●漢字の習得や記述式問題での誤答 【結果】○自主学習継続目標達成率85% ○「自主学習の評価」有効 ○「自主学習の見本の配付」有効 ●自主学習の質が向上した児童の割合72%	A	評価は妥当である。 ・児童の自己評価や他己評価により, 児童に自信をつける活動はよい。 ・あいさつは, 出会ったときによく挨拶してくれる。 ・今後も地域のあいさつ運動(JA女性部)月1回は継続して協力する。	○基礎・基本の力は学力補充やパワーアップタイムなどを継続する。 ○授業研究については来年度のテーマに基づき, 主体的に対話的な学びを深め, 研究授業等に取り組む。 ○児童が自ら学習意欲を高めるための取組を深める。
自ら考え学ぶ力の育成 基礎・基本の学力の定着	⑤学びの革新・基礎学力の定着を図る。	○ファシリテーションの工夫による授業改善(授業改善3本柱:導入・練り合い・振り返り) ○基礎・基本の定着(パワーアップ&学級タイムによる学力補充と定着)	○単元テスト 国語・算数における学級平均 80点以上	80点	国語 87点 算数 83点	106%	A	【結果】○「ふるさとが好き」98%、「ふるさとに貢献したい」88%→91% 【分析】○「ふるさと学習」は全学年で地域の方々と連携し実施した。CSでのアイデアをPTA役員や教職員と共有し参画意識へつなげた。(合言葉「八重東ファミリー」) ○何がふるさとのためになるか各学年で考えた結果, 貢献したい児童が増えた。今後, 生活総合の計画を見直し, 内容・場所・ゲストとの役割を再構築しつつ, 充実した学びを先生方・地域・保護者・児童で創っていく	A	評価は妥当である。 ・立地を生かしてどんだんふるさとへ学習に出てほしい。 ・どの学年も取組がしっかりしている。活動のみで終わらず, まとめをして子どもたちの心に残しているのが子どもたちが大きくなった時に生きる。続けてほしい。 ・働き方改革についても取組を継続してほしい。	○基礎・基本の力は学力補充やパワーアップタイムなどを継続する。 ○授業研究については来年度のテーマに基づき, 主体的に対話的な学びを深め, 研究授業等に取り組む。 ○児童が自ら学習意欲を高めるための取組を深める。
	⑥自主学習の充実(授業と生活・家庭学習をつなげる)	○家庭学習の充実(授業と関連付けた家庭学習・自主学習の充実, 予習&復習) ○学びのフィードバック(ノート紹介, 学びの個人貯金:シールやグラフ)	○自主学習継続 目標達成率 80%以上	80%	85%	106%	A	【結果】○「ふるさとが好き」98%、「ふるさとに貢献したい」88%→91% 【分析】○「ふるさと学習」は全学年で地域の方々と連携し実施した。CSでのアイデアをPTA役員や教職員と共有し参画意識へつなげた。(合言葉「八重東ファミリー」) ○何がふるさとのためになるか各学年で考えた結果, 貢献したい児童が増えた。今後, 生活総合の計画を見直し, 内容・場所・ゲストとの役割を再構築しつつ, 充実した学びを先生方・地域・保護者・児童で創っていく	A	評価は妥当である。 ・立地を生かしてどんだんふるさとへ学習に出てほしい。 ・どの学年も取組がしっかりしている。活動のみで終わらず, まとめをして子どもたちの心に残しているのが子どもたちが大きくなった時に生きる。続けてほしい。 ・働き方改革についても取組を継続してほしい。	○基礎・基本の力は学力補充やパワーアップタイムなどを継続する。 ○授業研究については来年度のテーマに基づき, 主体的に対話的な学びを深め, 研究授業等に取り組む。 ○児童が自ら学習意欲を高めるための取組を深める。
信頼される学校づくり 信頼され, 地域に貢献する学校づくり	⑦ふるさと学習の充実・地域貢献	○生活科・総合的な学習の時間を中心に「ふるさと学習」を展開。地域の方と児童・教職員で学びを創る。 ○ふるさとへ愛着を感じ, 宝と出会い, すばらしさを発信する学び	○児童アンケート 「ふるさとが好き」 「ふるさとに貢献」 肯定的回答 90%以上	90%	好き 98% 貢献 91%	104%	A	【結果】○「ふるさとが好き」98%、「ふるさとに貢献したい」88%→91% 【分析】○「ふるさと学習」は全学年で地域の方々と連携し実施した。CSでのアイデアをPTA役員や教職員と共有し参画意識へつなげた。(合言葉「八重東ファミリー」) ○何がふるさとのためになるか各学年で考えた結果, 貢献したい児童が増えた。今後, 生活総合の計画を見直し, 内容・場所・ゲストとの役割を再構築しつつ, 充実した学びを先生方・地域・保護者・児童で創っていく	A	評価は妥当である。 ・立地を生かしてどんだんふるさとへ学習に出てほしい。 ・どの学年も取組がしっかりしている。活動のみで終わらず, まとめをして子どもたちの心に残しているのが子どもたちが大きくなった時に生きる。続けてほしい。 ・働き方改革についても取組を継続してほしい。	○ふるさと学習については年間の振り返りを元に着実に来年度へ引き継いでいく。まとめ等も同様に来年度も行う。 ○働き方改革について, 「チーム八重東」としての所属感が高まり, 参画意識が高まっているので, 今後も取組を続ける。 ○業務内容や学校凝視の見直しをしていく。
	⑧働きがい(働き方)改革, ライフ&ワークバランス	○参画意識を実感できる業務改善の仕方を改革。(ボトムアップ&ミドルアップの実現) ○業務内容の検討と改善見通しの確認(年間2回の意見集約と検討)	○教職員アンケート 【学校文化意識調査】 「意見が出しやすい雰囲気である」5以上(6段階評価) ※芸北管内小中平均4.99 【ストレスチェック指標】 「上司からの支援」 「同僚からの支援」 全国平均以上	5 全国平均以上	- 3.7 9.5	- 142.3% 143.9%	- A	【結果】○働きがい3.7(全国2.6, 町3.2)上司の支援9.5(全国6.6, 町8.3) ○教育推進と働き方改革をボトム&ミドルアップで継続した。町教委・福祉課・近隣校・SC・SSWとの連携により一体感をもって取り組んだ。(孤立感・不安感を解消し, 所属感の醸成)	A	評価は妥当である。 ・立地を生かしてどんだんふるさとへ学習に出てほしい。 ・どの学年も取組がしっかりしている。活動のみで終わらず, まとめをして子どもたちの心に残しているのが子どもたちが大きくなった時に生きる。続けてほしい。 ・働き方改革についても取組を継続してほしい。	○ふるさと学習については年間の振り返りを元に着実に来年度へ引き継いでいく。まとめ等も同様に来年度も行う。 ○働き方改革について, 「チーム八重東」としての所属感が高まり, 参画意識が高まっているので, 今後も取組を続ける。 ○業務内容や学校凝視の見直しをしていく。

【自己評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60 【学校運営協議会評価】 A:自己評価は適正である B:自己評価はほぼ適正である C:自己評価はあまり適正でない D:自己評価は適正でない E:分からない